



# 陵雲だより

～自ら進んで、考え判断し行動できる子供の育成～

旭川市立陵雲小学校



## 友達と共に創り上げた学習発表会

校長 甲斐 信太郎

10月下旬、旭川市内で感染拡大による学級閉鎖が相次ぎました。陵雲小学校は10月24・25日に学習発表会を予定しておりましたが、市内同様、感染者の拡大のため一部の学級で時期を延期しての開催となりました。しかしながら、そのような状況であっても今年度も、家庭の方々にも来校いただき、子供たちの活動を御覧いただくことができました。今後も感染対策の御協力をよろしくお願いいたします。

当日は、感染対策のため、保護者の皆様に検温やチケットの御協力をいただきました。子供たちは、舞台発表への緊張感をもちながらも、生き生きと楽しそうに取り組み、発表を待ち望んでいた子供たちの気持ちが伝わってきました。かけ声とともに心を一つに取り組むやる気に満ちた子供たちの姿がありました。また、各学級の発表には、担当の教員だけでなく子供の創意や工夫がたくさん含まれていて、どの発表にも学年の個性や工夫、子供たちの熱意を十分に感じる学習発表会となりました。

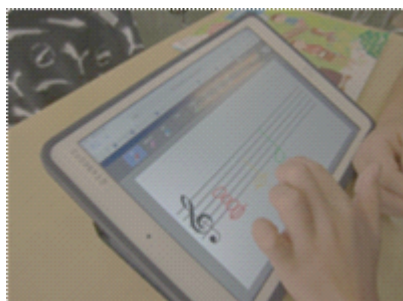
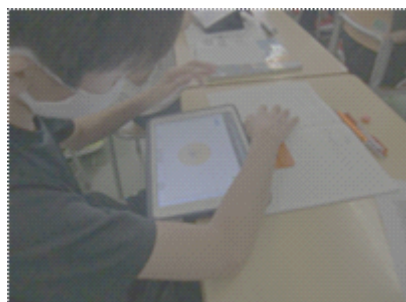
そして、発表を終え、舞台を降りてきた子供たちの顔には、友達と共に力を合わせて取り組んできた取組に対して、大きな達成感を感じている様子も見られました。昔の学習発表会に比べると、準備時間はとても少なくなっていますが、役割意識や所属感、達成感など子供たちの気持ちや態度につながる素晴らしい活動ぶりでした。

今年の本校は「友達と共に協働する」ことが重点です。今後も楽しく喜びを感じさせる指導、子供の達成感につながる指導に私たちは取り組んでいきます。そして、家庭での励ましや御協力のおかげで、子供たちの心に「友達と共に創り上げる喜び」そして「自信」が育ってきたことにともに喜びたいと思います。ありがとうございました。



## 一人一台端末の活用授業を実践しています！

学校では、子供たちの個別最適な学び、協働的な学びを実現するため、日々授業改善に取り組んでいます。授業改善チーム（端末活用チーム）が来校し、研修を行った際には、1、2年生は生活科、3、5年生は国語科、4年生は音楽科、6年生は算数科の授業を公開しました。生活科では、カメラ機能を使って撮影した画像や動画を活用したり、図鑑から調べ学習をしたりしました。国語科では、「オクリンク」という授業支援ソフトを活用し、読書カードの作成をしたり、描画ツールを活用しながら考えを交流したりしました。音楽科では、音符を描く学習場面で五線譜の画像カードを活用しました。算数科では、円を分割・変形すると平行四辺形や長方形等の既習事項と結びつけられることを、デジタル教材を使いながら視覚的に考える学習をしました。様々な教科での効果的な端末活用について、今後も研修を進めていきます。



## グローアップ公開校内研修会

今年度、本校では、子供たちが主体的に学習に取り組み、協働的な関わりの中で学びを深めることができるよう、授業改善に取り組んでいます。11月10日（木）には国語科の授業を公開し、研修を深めました。12月1日（木）には算数科の授業の研修会を行う予定です。



## 教育実習

9月に5名、10月に1名の教育実習がありました。どの実習生も配属学級の子供はもちろん他の学級の子供たちとも授業や休み時間等で積極的に関わり、充実した実習となりました。